

# 効率的・効果的に配分

# 平成20年度の当初予算

一般会計418億円  
 総額765億6千538万4千円

平成20年度当初予算が第1回定例市議会で成立しました。予算では、限られた財源をより効率的、効果的に配分し、経費の縮減を図りつつ、必要な事業へ重点的に配分しました。ここでは、主に一般会計予算の内容を歳入歳出別にお知らせします。

## 一般会計予算

前年度比3・2%減

市の財政の中心となる一般会計予算額は418億円で、前年度比14億円(3・2%)の減となりました。また、特別会計と水道事業会計を含めた予算総額は、765億6千538万4千円で、前年度比7・6%の減となりました。

## 歳入

一般会計の歳入のうち最も多いのは、個人市民税や法人市民税、固定資産税などの市税250億3千685万円で、全体の59・9%を占めています。続いて多いのが国庫支出金10・9%で、市が行う特定の事業に国から交付される補助金などです。次に多いのが事業を行うために国などから借入れる市債(6・0%)です。そして県支出金(4・5%)、繰入金(3・6%)、地方消費税交付金(3・3%)などの順

平成20年度予算の一覧表

区分	平成20年度予算額 (前年度比)	増減率 (%)	
一般会計	418億円 (14億円減)	3.2	
特別会計	国民健康保険	148億3,381万5千円 (3億387万7千円増)	2.1
	下水道事業	49億3,758万5千円 (4億5,833万4千円増)	10.2
	老人保健	10億8,085万5千円 (77億4,069万4千円減)	87.7
	狭山都市計画事業上広瀬 土地区画整理事業	1億7,115万1千円 (72万5千円減)	0.4
	狭山都市計画事業狭山市 駅東口土地区画整理事業	7億5,740万3千円 (2,600万円増)	3.6
	介護保険	67億2,694万6千円 (6億8,603万9千円増)	11.4
	後期高齢者医療	12億7,696万9千円 (12億7,696万9千円増)	新規
	計	297億8,472万4千円 (49億9,020万円減)	14.3
水道事業会計	49億8,066万円 (5,290万円増)	1.1	
合計	765億6,538万4千円 (63億3,730万円減)	7.6	

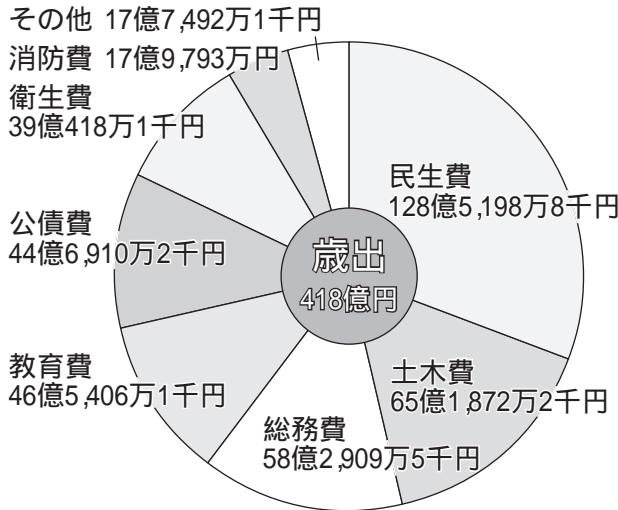
市民一人が負担する市税  
 総額15万7,459円  
 表1

市民税	8万3,593円
固定資産税	6万805円
都市計画税	6,501円
市たばこ税	5,597円
軽自動車税	961円
特別土地保有税	2円
総額	15万7,459円

人口...15万9,006人  
 (平成20年1月1日現在)

# 歳出の内訳

グラフ2

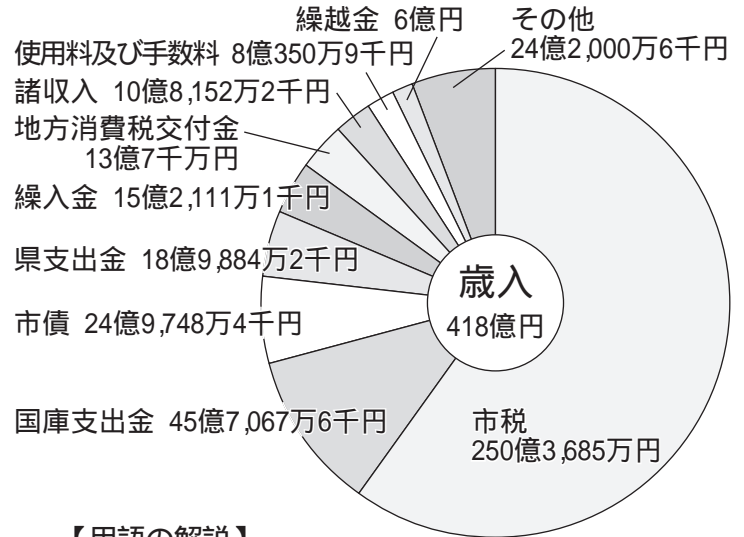


### 【用語の解説】

- 民生費...高齢者、障害者、児童等の福祉など
- 土木費...道路や公園の建設や修繕など
- 総務費...市の運営費など
- 教育費...学校や図書館などの修繕や運営費など
- 公債費...市の借入金の返済など
- 衛生費...ごみ処理やリサイクル、環境対策など
- 消防費...消防や防災など
- その他...議会費や労働費、商工費など

# 歳入の内訳

グラフ1



### 【用語の解説】

- 市税...市民税など市に納めていただく税金
- 国庫支出金...国からの補助金など
- 市債...国などからの借入金
- 県支出金...県からの補助金など
- 繰入金...市の預貯金から下ろしたお金
- 地方消費税交付金...県に配分された地方消費税の内、各市町村の人口割合などで交付されるお金
- 諸収入...ほかの収入科目に含まれない収入
- 使用料及び手数料...公共施設の使用料や住民票などの交付手数料
- 繰越金...前年度から繰り越したお金
- その他...自動車取得税交付金や地方交付税など

## 歳出の性質別内訳

表3

人件費	109億3,013万円	職員給与、共済組合負担金、退職手当負担金、議員報酬など	26.1%
扶助費	69億707万3千円	社会保障制度の一環として、法令などに基づき被扶助者に支出される経費。生活保護、児童手当など	16.5%
物件費	65億1,185万円	他の性質に属さない消費的な経費。委託料、備品購入費、臨時職員賃金など	15.6%
投資的経費	52億2,129万7千円	道路や施設の建設のための経費など	12.5%
公債費	44億6,908万1千円	借入金の元金や利子の支払に要する経費	10.7%
繰出金	41億9,151万4千円	特別会計へ支出する経費	10.0%
その他	35億6,905万5千円	各種補助金、貸付金、維持補修費など	8.6%

## 市民一人当たりの歳出

表2

民生費	8万827円
土木費	4万997円
総務費	3万6,660円
教育費	2万9,270円
公債費	2万8,106円
衛生費	2万4,554円
消防費	1万1,307円
その他	1万1,162円
総額	26万2,883円

# 歳出

また、表1は、市税の歳入を市民一人当たりで換算したもので、一人当たり15万7千459円を見込んでいます。

一般会計の歳出では、高齢者や障害者、児童などの福祉に使われる民生費128億5千198万8千円が最も多く、全体の30.8%を占めています。次に、道路や公園の整備、改修などの都市基盤整備に充てられる土木費65億1千872万2千円(15.6%)、庁舎や財産の管理など、市の運営などに使われる総務費58億2千909万5千円(13.9%)、さらに教育費11.1%(公債費10.7%)、衛生費9.3%などの順になっています。

表2は目的別歳出を市民一人当たりで換算したもので一人当たり26万2千883円が使われる見込みです。

また、表3は歳出を性質別に表したもので、職員などの人件費が全体の26.1%で、続いて生活保護費、児童手当などの扶助費(16.5%)、委託料や備品購入費などの物件費(15.6%)となっています。

問合せ財政課へ内線7113